

みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2004/09/20 Vol. 38 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

印西市議会/平成 16 年第 3 回定例会報告 (1)

いつもお世話になっております。印西市議会第 3 回定例会 (9 月議会) は、9 月 24 日 (金) までの会期にて行われ、現在休会中です。今回は、9 月議会での私からの一般質問、市執行部からの回答を中心に報告していきたいと思っております。

9/9 (木曜日) に、代表質問に立ちました。

以下、市当局の回答です。

1. 市民主導について

山崎市長は選挙公約で「市民主導の市政」を提唱され、市長の席に就かれたわけであるが、公約実現の為に具体的にどのような方針で市政を運営していくのであろうか。

(3) 合併問題について

(-1) 情報提供について

(-2) 市民投票条例について

(回答/市長) (3) 合併問題についてお答えいたします。

合併問題の今後につきましては、私としては、合併推進の立場は変わりませんが、二市二村の合併協議会が廃止された現在、当面は状況の推移を見守っていきたくて考えておりますので、今のところ、合併が白紙に戻ったことについては、広報紙やホームページに掲載をして、情報の提供をしてみたいと考えております。

次に、市民投票条例についてでございますが、市民の意向を確認する手段の一つであると認識はしておりますが、ここはやはり、議会制民主主義の意義をしっかりと把握し、最終的な判断は、市民の代表であり、議事機関である議会に委ねるものでありますので、今のところは、合併に関する市民投票条例については、慎重に対応すべきものと考えております。

(ぐんじとしのりより 執行部への再質問と回答 / 議会での発言をほぼ原文のまま掲載します。)

情報提供についてですが、2市2村の合併は白紙です。では印西はどうするの？これを市民は聞きたいのです。合併推進の立場は変わりませんが、二市二村の合併協議会が廃止された現在、当面は状況の推移を見守っていきたくて考えております。このように市長は発言されている。しかし、市民が市長の回答をみて、納得していると思っておりますか？

再質問 /

- 印西市は単独で市政運営できないのですか？離脱した白井市は住民投票以前に単独でも市政運営できるというシミュレーションがあり、これを多くの市民が支持したので結果として合併は不用という判断を下したと考えていますが、立ちかえってわが印西市。1度として市民に提示されたことはないですね？単独で市政運営できないのか？市民から回答を求められたらどのように回答するのか？お聞きします。

(回答/市長) 当然やっていける。いかなくてもならない。ただ、厳しくなっていくのは当然だ。

再質問 /

法定協解散後、隣の本埜村では村民へのアンケートも行ったそうです。結果を私はまだ知らないのですが。(ぐんじ注/この質問当時、私が知らなかったということです。)法定協解散直後から村長自らがホームページ上で「印西との合併はどうだ」といったニュアンスのことを記載されています。合併

特例法の期限が迫る現在、本埜村から早急な合併を求められた場合のシミュレーションは行われているのか？その場合、特例法の期限内に合併を行っていくのか。

(回答/市長) 行っていない。

次にもう一点。市民投票条例についてですが、最終的な判断はやはり首長か議会の判断ですよね。私は「住民投票をやるかやらないかを問うている」わけです。誰も最終的な判断を「住民投票によるかどうか」など聞いていません。御答えください。「合併に関して、住民投票をやるかやらないか」をお答えください。ただ、ひとことだけ付け加えさせていただくと市民主導の市政を標榜するのであれば、市民投票はすべきだと思いますし、市民力を使い、市民の参画を進める山崎市政にとって必要不可欠なものであると考えますが、いかがですか？ご回答をお願いします。

(回答/市長) 今は考えていない。

(ぐんじとしのりより/市民のみなさまへ)

質問と答弁時間をあわせて90分のなかで、今回は合併問題に関しては満足な回答を得ることができませんでした。上に記載した、再質問では「印西市は単独で市政運営できないのですか？」と私から市長に問い、「当然やっていける。いかなくてもならない。」と市長は回答をしました。反面、市長はなぜ「合併推進の立場は変わりません」と言い切るのか？その説明は聞かれずじまいでした。白井市が離脱し、法定協議会が解散した現在、解散した法定協議会については、かかった費用に関して報告して行くのは当然のことですが、市の現状(単独での市政運営とその問題点)も明らかにすべきだと考えます。(今夏に実施された市長選挙では候補者全員が、「合併推進の立場」をとっていました。が、「当面は状況の推移を見守っていきたい」という山崎新市長の発言の先にある姿が見えてこないのが事実です。)

合併に関しての市民への説明責任は充分果せますか？情報提供はどうするのか？

~この件も再質問では問うたのですが、回答は時間の関係でいただけませんでした。

私は市の財政が豊かになり(財政力指数が1を超え、国からの「地方交付税」という名前の交付金は印西市は受け取らなくなります。)国に依存しなくとも自立することができるようになってきた現在、なぜ合併を必要とするのか、市民のみなさまは市から十分な情報提供を受け、市長や執行部から広報等を通じての回答を受け取る権利があると考えています。

- また、本埜村、印旛村他の自治体も絡めた形で今後合併するのであれば、市民に対して十分な時間をかけて説明責任を果していくべきだと考えております。

請願案件(9月議会提出分)を説明させていただきます。

9月議会では、以下の2つの請願が議会に提出され、委員会審査のあとに本会議で採択の可否が決定されます。

- * **郵政事業の現行公社制度堅持を求める意見書の提出に関する請願**
 - 郵政民営化ではなく、郵政事業の現行公社制度を堅持してほしい。
(* 意見書の宛先は内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長となっております。)
- * **私立幼稚園通園児保護者にかかる教育費負担軽減の為の補助金拠出を求める請願**
 - 私立幼稚園の保育料補助として、月額2000円の拠出を求める。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

ぐんじとしのり